

無電柱化の風が吹いてきた！

NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワーク 理事兼事務局長 井上 利一

<NPO の成り立ち>

2007年4月にNPOの認証登録をいただき、もう7年になります。日本に唯一の無電柱化の推進を専門にするNPOとしてこれまで活動してきました。

そもそも、このNPOの立ち上げは、無電柱化の街を創りたい！という中小デベロッパーの社長の一言から始まりました。この社長は、ヨーロッパで電柱や電線のない街を実際に見てきて、日本でもこういう街づくりをしたい！と思ったのですが、日本では、事例はあまりなく、相談に行った電力会社から法外な値段を言われ、けんもほろろに帰ってきたとのこと。そして、私たちに相談があり、ノウハウのない中、試行錯誤の末に、無電柱化の街を誕生させることができました。しかも、電力会社が提示した金額の3分の1でできたので、社長は大喜びでした。



できた街を見て、こんなに美しく、安全・安心の街をもっと広げたい！という思いになり、なぜ、日本は無電柱化が進まないのだろうか？というところから、同じような思いを持っている人たちはもっといるのではないかと無電柱化を推進する活動を進めたい！そうした思いで、高田理事長に相談したところ、「それはいいことや！ぜひやろう！」とNPOの設立が決まった瞬間でした。

<NPO の活動>

現在では、少し認知度も上がり、無電柱化のご相談を色々なところからいただくようになりました。京都市の「京の三条まちづくり協議会」からの無電柱化の相談もその一つです。京都では、新町通の無電柱化に関して、建設系NPO連絡協議会時代に、試行事業として採択していただいた「古都の無電柱化事業」を進めてきましたが、思うように自治会や住民の合意形成が図れずに、進捗していないという経験から、三条通では、先に無電柱化勉強会を開催して、地元の皆さんの合意形成を図るところから進めています。

また、コスト削減や新技術・新工法の開発にも取り組んでおり、会員企業さんと連携して、二重側溝に電線管路を入れる製品の開発や、軽量型ハンドホール、浅埋工法などを検討しています。国土交通省や東京都、大阪府とも、情報交換、連携して、無電柱化の推進に取り組んでいます。

<これからの活動>

今臨時国会で与党が無電柱化基本法の提出を予定しています。その中の「新設電柱の禁止」は、当NPOが4年前に編著した『電柱のないまちづくり』で、すでに提案していたことが現実化しようとしています。無電柱化は難しい、地震に弱い、など、誤った常識がまだまだ、まかり通っている現状の中で、私たちの地道な活動により、日本の無電柱化の現状が少しずつ認知されてきたことはたいへんうれしいことですが、日本の電柱は、この瞬間にも増えつづけています。これからは、土木系のNPOが多く集う、シビルNPO連携プラットフォームとも連携しながら、私たちの強みを最大限活かしていきたいと思えます。

今を好機と捉え、吹いてきた風に乗って、さらに、無電柱化を加速させていき、一つの目標である2020年の東京五輪に向けて、日本の街を美しく、安全で安心な街にしていきたいと思えます。